



発行元 (社)西原町シルバー人材センター
 発刊 2010年(平成22年)9月
 〒903-0111 沖縄県中頭郡西原町字与那城135番地
 TEL(098)944-1699 FAX(098)944-1835
 e-mail nishihara@sjc.ne.jp



シルバーだより 第12号

シルバーで人の輪 知恵の輪 社会の輪

(全国統一スローガン)




障子張替え ボランティア 会員・役職員74名参加(社会福祉センター施設内)




福祉・家事援助サービス事業 ボランティア

基本理念

～ 自主・自立で更なる発展を目指す ～

- 自主

…

自分のものとして考え
- 自立

…

自分たちの力で育てる
- 共働

…

一緒になって働く
- 共助

…

お互いに助け合う

シルバー人材センターの組織活動は、会員が自ら考え、目標を立てて積極的に問題の解決に当たるなど、会員が自主的・主体的に活動することを目指しています。

シルバー人材センターでの働き方は、会員が相互に協力し、ふれ合いながら力を合わせて、また共に助け合いながら仲良く就業することを基本としています。

平成22年度

通常総会開催される

平成二十二年六月四日（金）午後二時、西原町中央公民館において、平成二十二年年度社団法人西原町シルバー人材センター通常総会が開催されました。

会員総数226名に対し、出席者124名、委任状54名、出席合計178名

以上の出席を得て、社団法人西原町シルバー人材センター定款第二十二条第一項（会議の定足数）に基づき、開会とした。

定刻、安里安雄会員の司会の下、島袋文雄理事の開会のことばで始まり、翁長正吉理事長のご挨拶がありました。

引き続きご来賓より、上間明西原町長、城間信三町議会議長並びに社団法人沖縄県シルバー人材センター連合の名嘉元甚勝会長のご祝辞を賜りました。また、ご臨席頂きました連合本部、県内の各シルバー人材センターの理事長、事務局長並びに職員の方々の紹介がありました。

続いて、議長の選出に移り、平安恒政理事が選出され、議事録署名人を喜屋武晃会員と稲福清子会員の両名が指名され、議案の審議に入りました。

議案第一号

平成二十一年度事業報告

議案第二号

平成二十一年度収支決算

議案第三号

平成二十二年事業計画

議案第四号

平成二十二年収支予算

議案第五号

役員の選任

議案第六号

理事長に対する権限委任



以上、六議案について慎重なる審議の結果、全議案とも原案のとおり可決されました。総会終了後は、第二部の懇親会が行われ、多くの会員の素晴らしい余興が披露され、にぎやかに盛り上がる中、全日程を終了致しました。



表彰（役員表彰）

玉那覇信助 氏

三期（六年）の長きに亘り、当センター会員理事としてシルバー事業にご尽力された玉那覇信助氏に表彰状が贈呈されました。

新役員紹介

理事長

翁長正吉

副理事長

崎原盛秀

理事

平安恒政

稲福 勇

小波津 勇

島袋文雄

喜納昌吉

福里重盛

奥古田ユキ子

大城 進

古堅達夫

監事

稲福恭助

崎原盛廣



【総務委員会】

《取組み事項》

- ◆ センター運営の調査研究及び企画に関すること。
- ◆ 独自事業の調査研究及び開発に関すること。
- ◆ 地域班に関すること。
- ◆ 会員の福利厚生に関すること。
- ◆ その他、組織に関すること。

委員紹介

委員構成 (理事3名/会員2名)
 左から 後列 / 喜納昌吉 川満英一 新垣良宣
 前列 / 與古田ユキ子 平安恒政
 ※ 委員長 平安恒政 副委員長 川満英一



【業務委員会】

《取組み事項》

- ◆ 会員の就業に関すること。
- ◆ 会員の技能及び技術向上に関すること。
- ◆ 会員の就業相談に関すること。
- ◆ 職群班に関すること。
- ◆ その他、業務に関すること。

委員紹介

委員構成 (理事3名/会員2名)
 左から 後列 / 新垣陽功 古堅達夫
 前列 / 新川助一 稲福 勇 福里重盛
 ※ 委員長 稲福 勇 副委員長 新川助一



【普及推進委員会】

《取組み事項》

- ◆ 会員の加入拡大に関すること。
- ◆ 就業開拓及び促進に関すること。
- ◆ 町民、事業所、諸団体への広報PRに関すること。
- ◆ その他、普及啓発活動に関すること。

委員紹介

委員構成 (理事3名/会員2名)
 左から 後列 / 神谷嘉宗 与那城武旭 大城 進
 前列 / 小波津 勇 島袋文雄
 ※ 委員長 小波津 勇 副委員長 島袋文雄



【安全委員会】

《取組み事項》

- ◆ 会員が健康で安全に働くことができる為の実施計画の策定に関すること。
- ◆ 会員の就業上の事故分析とそれに伴う事故防止対策の樹立に関すること。
- ◆ その他、会員の健康と安全に関する必要な事項。

委員紹介

委員構成 (理事2名/会員2名)
 左から 安里安雄 大城 進 呉屋泰勝 稲福 勇
 ※ 委員長 安里安雄 副委員長 大城 進





安全就業推進大会

例年七月は「シルバー人材センター事業安全・適正就業強化月間」と定め、全国一斉に各拠点センターにおいて様々な取り組みがなされています。

当シルバー人材センターでは、七月八日(木)午後四時四十五分、西原町中央公民館において「平成二十二年度(第五回)安全就業推進大会」を開催いたしました。当日は会員一五九人出席の下、大城進安全副委員長の開会挨拶で始まり、翁長正吉理事長の挨拶、続いて、上間明西原町長より激励の挨拶がありました。

大会次第に沿って、安里安雄安全委員長より、過去三年間の事故状況報告など資料提示の上、詳細な安全就業状況の報告がなされました。

続いて、「平成二十二年度安全標語入選者表彰」に移り、同標語については今年度応募において、八十七点の作品の中から厳正な審査の結果、三点の作品が決定し、下記のとおり入選者(三名)の発表並びに表彰が行われました。

次の日程、会員の意見発表として、前原輝雄会員、野口宣夫会員より、自らの体験を例に挙げ、日常の就業に関して感じた事など貴重な意見の発表がありました。

日程八、呉屋泰勝安全委員より「大会決議」が読み上げられ、会員総意の下、大会決議が採択されました。

次に日程九、稲福勇安全委員より「安全宣言」として、事故ゼロを目指し、安全心得十カ条の遵守、安全就業の徹底を宣言しました。

引き続き日程十、民謡古典研究所、當間清子先生より「かまえず、ゆるめず、ヨシナリ、ヨシナリ」を演題に、心の健康こそが身体の健康に繋がる、その要となるものが「日々、感謝の心を持ち、様々な事柄を楽しむ事」であり、「唄い、笑いで心を元気にする」と、ご自身の体験談を交え、心身の健康について説かれ、大変有意義な講演となりました。

最後に、崎原盛秀副理事長より、当シルバー人材センター会員の諸活動における動員力の素晴らしさと、また地域での様々なボランティア活動の感謝とお礼を述べ、本日決議された「安全就業の徹底」について、会員みなさんへ協力を願い、大会を終了しました。

安全標語入選作品

(応募総数87点)

最優秀賞

慣れた作業には危険が潜む 初心に戻り安全作業
渡慶次道春

優秀賞

急ぐ仕事に落とし穴 安全四点セットで安全就業
新川助一

佳作

安全は注意の一步から始まり 安心の安全就業で終了
与儀実



～平成22年度～ 安全標語入選者

左から
与儀実さん、新川助一さん、渡慶次道春さん



意見発表 / 前原輝雄 会員



意見発表 / 野口宣夫 会員



安里安雄 安全委員長



崎原盛秀 副理事長



安全就業について

安里安雄 安全委員長



シルバー人材センター事業は、急速な高齢化が進展する中で、高齢者の生きがいと社会参加をモットーに、昭和55年に国の事業として発足し、飛躍的な発展を遂げ現在に至っているところであります。西原町シルバー人材センターにおいても、事業規模の拡大に伴い会員も増え、発展拡充の途上にあります。

それに附随して会員の就業中の事故も増加の傾向にあります。安全な就業は、事業運営の基本をモットーとするセンターにおいて、安全就業対策は、こと急を要する事項であると思います。

会員の健康と就業の安全、事故防止対策を推進する為に、平成6年4月1日に安全委員会を設置し、年を重ねるごとに、その活動を強化してきたところであります。活動状況を上げてみると、「安全・適正就業推進大会」

～今一度立止まり、安全就業遵守義務の徹底を！～

を開催しての安全意識向上の為の普及啓発活動、安全委員会による会員の就業現場への安全パトロール、交通安全、技能習得、体調管理関係等の講習会、研修会の実施であります。これらの活動を毎年くり返し実施しているところであるが、なかなか事故を減らすことが出来ない現状で、しかも事故の態様が毎年おおむね同じ事のくり返しであります。ここで当センターの会員が起こした平成21年度の事故の発生状況を見てみると、物損4件と傷害1件の計5件で、物損事故の態様は、車両関係で後退不注意、また刈払機による飛び石で窓ガラスを破損したものである。

会員の事故防止は出来ないのか、事故は結果として起こる現象であり、必ず事故を起こす要因がある筈である。全会員が今一度立止まり、何故、事故が起きるのか、考えて欲しいと思います。「体調管理は十分か」、「お互い申し合せた事を守っているのか」、「マンネリ的に漫然と仕事をし、仕事に対する意欲（やる気を失っていないか）」。幸いにして我がセンターにおいては、重篤事故（死亡又は6ヵ月以上の入院）は発生していません。もし会員が事故を起こした場合、本人や家族を不幸にするばかりでなく、就業の機会を与えたセンターとしても、社会的責任を問われるでしょう。今こそ、会員、センター（役職員）、安全委員会が一丸となって、事故防止対策に最大の努力をすべき時期にきているのではないのでしょうか。

安全就業基準第2条（会員の遵守義務を詳解します）。

「会員は、就業しようとするときは、この基準を遵守し、あらゆる事故の発生防止に努めなければならない。」

平成22年9月30日

安全掲示板設置なる！

～事故ゼロを目指して～

当センターでは、「安全なくして就業なし」の合言葉で、事故ゼロを目指し、日々、安全就業対策の推進に取り組んでいます。

この度、予てから念願の「安全掲示板」が設置されました。本掲示板は、「安全就業無事故記録表」をカウンタ方式で示し、無事故記録を毎日更新しています。事故の内容には、物損・傷害の他、就業中の会員の小さなケガ等、細部に亘り厳しくカウントに反映されます。この後、「何万何千日」という様に、記録更新を目指しています。

また、今年度「安全標語」、「今月の重点目標」「講習会・研修会」等を掲示し、毎朝の朝礼に加え、安全意識の高揚に役立て、安全就業の徹底を図ります。



「かえるくん」販売開始！

緑のリサイクル事業



265円

20%

施用:10a(300坪当たり)3,000kg

主要な成分の含有量等

- ★窒素全量(%)・・・0.66
- ★りん酸全量(%)・・・0.39
- ★加里全量(%)・・・0.61
- ★炭素窒素比・・・14 (C/N比)



町内の家庭・公共施設・また当センターの就業先から収集した草木類をチップパーシュレッダーでチップ化し、EM菌で発酵させた米ぬかを投入後、発酵槽で管理し攪拌を繰り返し、8カ月の熟成期間を経て新製品、特選腐葉土「かえるくん」を生産し、販売開始となりました。

西原町シルバー人材センターは、「緑のリサイクル事業」を企画提案方式(※参照)による事業として平成20年度西原町行政の支援を受け、導入し、地域に密着した循環型社会の実現を目指し取組んで参りました。

特に、草木類のチップ材を活用した商品生産に向け取組み、諸般の届出、特殊肥料成分の分析等の手続きを経て、堆肥化の生産工程も確立されました。また平成21年度11月30日、町内の家庭から出る草木類の収集業務が本格的に始動され、これまでに廃棄処理されていた町内の草木ごみを有効利用とする本事業の真価を発揮する絶好の機会を得、強力に推進して参りました。

【解説】(※参照)

「企画提案方式事業」とは・・・地域における「教育」「子育て」「介護」「環境」分野の需要に対応するため、シルバー人材センターと地方公共団体が連携し、共同で企画提案した事業に対し、一定の事業効果が認められた企画について国が支援する制度による事業です。

特選腐葉土「かえるくん」は、保水力や通気性が良くなり土壌を改良するとともに、土にすぎ間が多くなり、適度な柔らかさで根の伸びを良くします。

ご家庭の菜園や草花の培養土、農家への有機質堆肥として、お勧めの商品です。

当シルバー人材センターは、当該腐葉土の一部を町立学校や公共施設・自治会等へ無償提供し、町内の施設に「花いっぱい運動」を推奨し、地域に貢献できるリサイクル事業として、強力に取組み、新たな商品開発に努めて参ります。



～特選腐葉土「かえるくん」お客様のもとへ出発！～



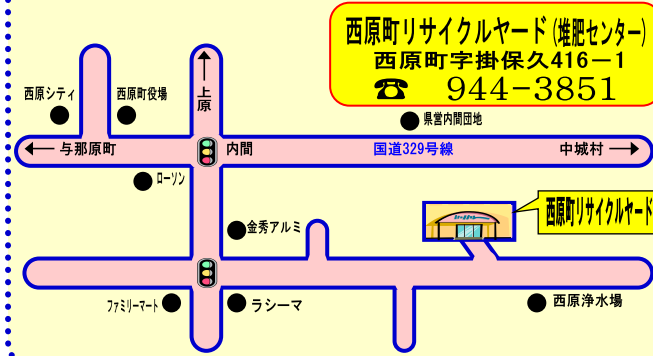
出荷を待つ「かえるくん」



特選腐葉土「かえるくん」お披露目会及び販売開始セレモニーが平成22年9月7日、リサイクルヤードにて、町行政より上間西原町長並びに関係部長、当センター会員・役職員の出席の下、開催されました。当日は「かえるくん」について、販売開始に至るまでの取組み経過報告の後、お披露目会を催し、そして「かえるくん」を積んだ第一陣となる車輛を全員で激励・見送り、お客様のもとへ、初出荷致しました。

「かえるくん」お披露目会及び販売開始セレモニー

～お求めは、こちらまで！(製造元)～



事務所施設補強・補修工事なる！

当センター事務所は、センター設立に伴い、西原町の施設整備事業にて平成5年度ワークプラザ奨励金の導入により建設され、町有財産無償使用貸借契約の締結の下、地域高齢者で構成する会員の活動拠点として施設活用して参りました。

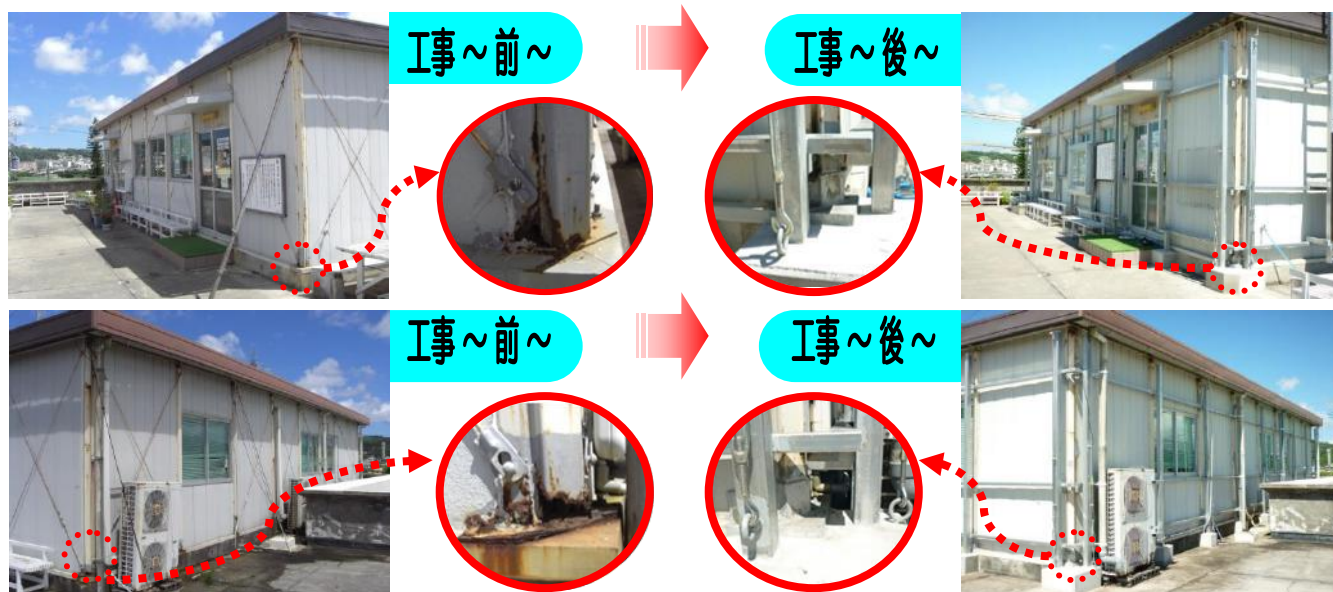
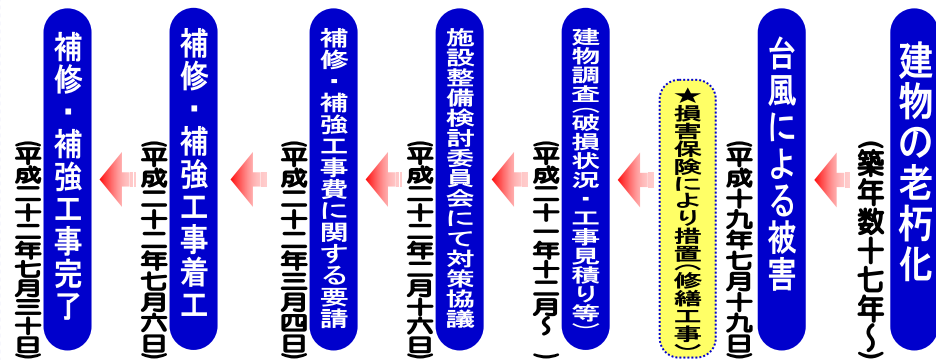
しかしながら、建築から17年が経過し建物の機能も老朽化が進み耐久性等に幾つかの問題点が確認され、特に、事務所内の引き戸の不具合や建物を支える鉄骨柱、トタンの腐食など、サビによる侵食の進行が著しく、建物の維持管理が危惧される状況にありました。財源面に課題を残す中、平成19年7月の台風では、屋根の破風板が破損し窓際から雨風が吹き込み壁の一部が破損、雨漏りで机の書類、パソコンが雨水で被害に見舞われた経緯があり、この後、台風を始めとする自然災害の建物への影響、被害が益々懸念される状況にありました。

そこで、当センター施設整備検討委員会において、建物における調査、並びに様々な項目の協議がなされ、西原町シルバー人材センターを含めた、町内の建築事業所の見積りをういて勘案した結果、当センターの見積りを採用する旨、工事費が算出されました。ただ、緊急な工事内容にもかかわらず、予算確保出来ず、町行政へ要請するに至りました。

要請にあたっては、当センター役職

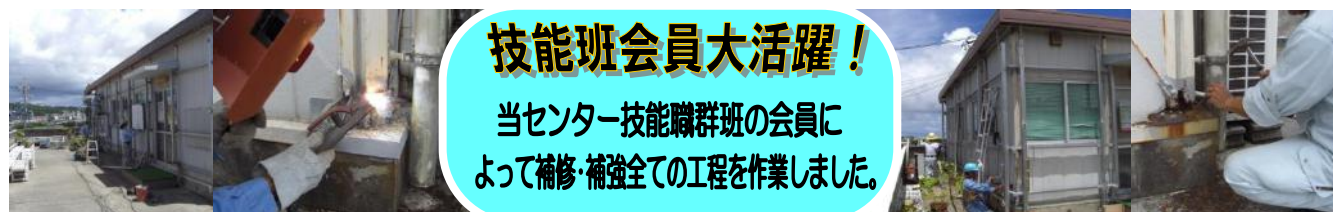
員で、事務所建物の現状を示す書類や見積書提示の上、要請致しました。町行政においては、緊急な補修工事という要請の趣旨をご理解頂き特段のご配慮により予算措置を講じて頂きました。本年七月、補修・補強工事着工、工事完了となり、当面の耐用年数満了年度(平成27年度)までの建物維持管理に資することができました。

～補修・補強工事完了までの経過～



技能班会員大活躍！

当センター技能職群班の会員によって補修・補強全ての工程を作業しました。



事務局だより

配分金支払日カレンダー

就業月	配分金支払日
三月	三月十五日(火)
二月	二月十五日(火)
一月	一月十五日(水)
十二月	十二月十五日(水)
十一月	十一月十五日(月)
十月	十月十五日(金)

配分金は就業した会員に対し、就業報告書に基づき月末締めにて翌月十五日(祝祭日及び土日にあたる日は支払い日後、最も近い日)に、指定の金融機関農協・郵便局において本人名義の口座へ振込みにより支払われます。

※ 配分金明細書の発行は、各月の配分金支払いに伴い、事務局にて、月単位で十五日には発行されておりますので、各自、受取るようお願いいたします。なお、明細書内容は確認して頂き、不明の点がある場合は業務担当に申し出て下さい。

就業報告書の提出について

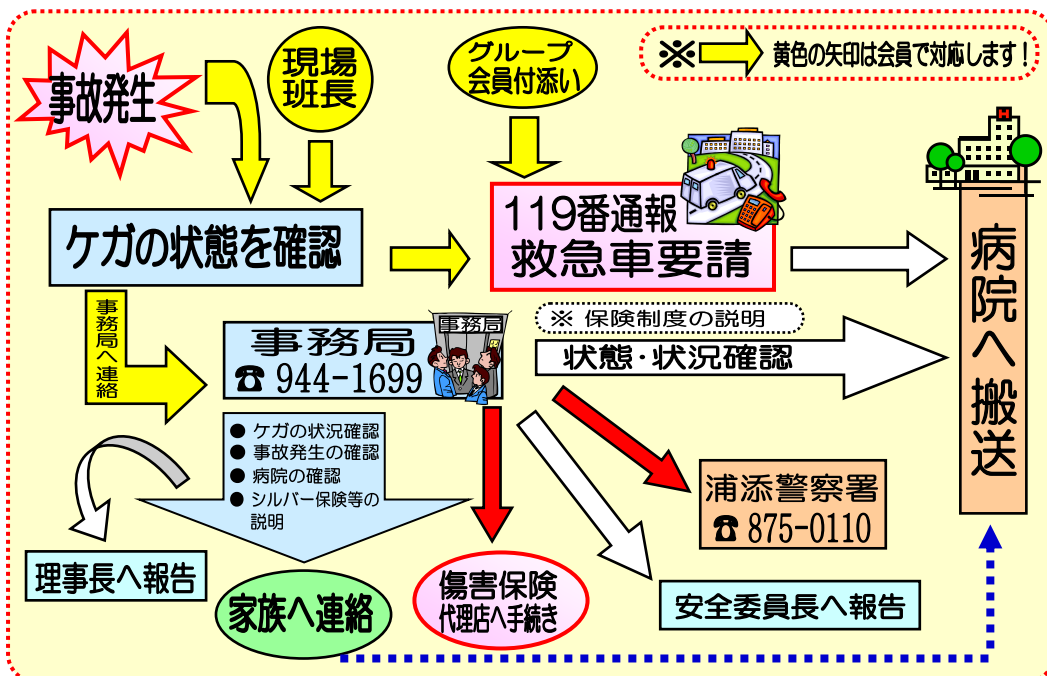
就業報告書は、正確に記入し、就業終了後、速やかに提出して下さい。

※ 提出が遅れますと、事務処理上、配分金支払いに支障となりますので、就業終了後、単発就業は三日以内、月末就業分については翌月の三日までに提出して下さい。

ご協力をお願い

会員の事故発生時の緊急対応マニュアル

万が一、事故が発生した場合、左記の図に示す手順に沿って、迅速な対応をお願いします。



会員入会のすすめ

シルバー会員になるには

◆ 西原町に居住する健康で働く意欲のある概ね60歳以上の方。

◆ 入会説明会を受けた方。

※ 入会説明会は毎月第四金曜日午後2時〜当センターにて開催しております。

◆ お問合せ (※お気軽にお問合せ下さい。)

(社)西原町シルバー人材センター

☎ 994-1699

皆さんの投稿お待ちしています

会員皆様の原稿を募集の上、「会員の広場」を設け、同だよりに掲載を予定しておりますのでご協力をお願い致します。

● 身近で起きた出来事、話題、就業で感じた事、意見、提言などの投稿文(四〇〇字以内)

● 写真(風景・人物・その他)

● 詩、短歌、俳句、川柳、琉歌など

● 絵画・水彩画・水墨画など

● ご自分の趣味の作品、手入れされた庭、盆栽、花壇、自家菜園など(写真可)

(※)要望があれば取材に伺います。

その他、何でも結構ですので積極的なご投稿をお待ちしております。

尚、これまでパネル展などに提出した作品でも結構ですので、ご協力お願い致します。

編集後記

強く照りつける太陽…今年も猛暑続きの夏でした。会員の皆様は、暑さの中にあっても、元気で朗らかに就業される様は日頃の健康管理の賜物でしょうか？ 私も会員皆様の笑顔を励みに日々努めています。健康と笑顔に感謝ですね！秋には恒例のピクニックも開催されます。改めてご案内致しますので、会員皆様の多数の参加で楽しく過ごしましょう！